

## 発展編

### 1 現金・預金取引 (p.152)

#### 1 外貨預金 (p.152)

##### (1) 預入れ

- ・ドルなど外国の通貨で行う預金を \_\_\_\_\_ という。
- ・外貨預金の口座に現金を預け入れたときは、 \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) \_\_\_\_\_ で処理する。その場合、仕訳は \_\_\_\_\_ を円に換算した金額で行う。
- ・外貨を円に換算した金額 \_\_\_\_\_ 外貨 × その日の \_\_\_\_\_ (為替レート)

#### 例題 1

(借)

(貸)

##### (2) 決算日

- ・外貨預金は決算日の \_\_\_\_\_ で換算する。
- ・決算日の換算額が預入額 (帳簿価額) より大きいときは、その差額を外貨預金勘定の \_\_\_\_\_ に記入するとともに、 \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ ) の貸方に記入する。
- ・決算日の換算額が預入額 (帳簿価額) より小さいときは、その差額を外貨預金勘定の \_\_\_\_\_ に記入するとともに、 \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ ) の借方に記入する。

#### 例題 2

(借)

(貸)

##### (3) 引出し

- ・外貨預金の引出時には、引出時の為替レートで換算した \_\_\_\_\_ の金額を受け取る。
- ・引出時の為替レートで換算した引出額と帳簿価額との差額は、 \_\_\_\_\_ 勘定 (収益) または \_\_\_\_\_ 勘定 (費用) で処理する。

#### 例題 3

(借)

(貸)

### 仕 訳

- ・外貨預金口座（ドル）に 100 ドル預け入れた（1 ドル＝100 円）。

(借) (貸) 現 金

- ・決算日に換算替えした。

[円安] 1 ドル＝110 円

(借) (貸)

[円高] 1 ドル＝95 円

(借) (貸)

- ・外貨預金口座より 100 ドル引き出した（1 ドル＝103 円、帳簿価額 ¥10,000）。

(借) 現 金 10,300 (貸)

## 2 商品売買取引 (p.155)

### 1 値引 (p.155)

- ・売買された商品に汚れ・破損などがあるといった理由で代金の引き下げを行うことがある。これを という。

#### 例題 1

当 社 (借) (貸)

千葉商事 (借) (貸)

【NOTE】

### 3 手形取引 (p.156)

#### 1 手形の裏書 (p.156)

- ・手持ちの手形を支払手段として譲渡することを手形の \_\_\_\_\_ という。
- ・手形を裏書したときは、手形を受け取ったときに生じた \_\_\_\_\_ が消滅するので \_\_\_\_\_ 勘定の \_\_\_\_\_ に記入する。

※手形を受け取った場合、その後どのようにするかについては次の4つがある。

〈 仕 訳 処 理 〉

- (1) 支払期日に現金と引き換える (借) 現金 ×× (貸) 受取手形 ××
- (2) 取り立てを取引銀行に依頼する 仕訳なし
- (3) 裏書する
- (4) 割引する

#### 仕 訳

- ・手形を裏書した。

(借) ○ ○ ○ ×× (貸) ××

#### 例題 1

6/5 坂戸商店 (借) (貸)

〃 秩父商事 (借) (貸)

#### 2 手形の割引 (p.157)

- ・手形を支払期日前に取引銀行に買い取ってもらうことを手形の \_\_\_\_\_ という。
- ・手形を割り引いたときは、 \_\_\_\_\_ が消滅するので \_\_\_\_\_ 勘定の \_\_\_\_\_ に記入するとともに、手形金額と売却価額との差額は \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) で処理する。

#### 仕 訳

- ・手形を割り引いた。

(借) 当座預金など ×× (貸) ××

××

例題 2

6/1 (借)

(貸)

3 手形の更改 (p.158)

- ・手形の支払人が手形の受取人の承諾をえて、(支払期日)を延長した新しい手形を振り出すことを手形の という。
- ・手形の更改により支払期日を延長するので、その期間に相当する を支払うことになる。

仕 訳

- ・手形を更改した。

【手形債務者 (支払人)】

(借) (旧) ×× (貸) (新) ××

【手形債権者 (受取人)】

(借) (新) ×× (貸) (旧) ××

例題 3

当 社 (借)

(貸)

千葉商事 (借)

(貸)

4 手形の不渡り (p.159)

- ・手形金額を受け取ることができなくなることを手形の という。
- ・手形の不渡りが生じた場合、受取人は支払拒絶証書の作成費用や満期後の利息を含めて、受取手形勘定から不良債権をあらわす 勘定 ( の勘定) に振り替える。

**仕 訳**

・所有する手形が不渡りとなった。

(借)	××	(貸)	××
		当座預金など	××

**例題 4**

(借)	(貸)
-----	-----

**5 営業外受取手形・営業外支払手形 (p.160)**

・ 本業の商品売買取引以外で約束手形を振り出したときは、勘定  
 (負債) で処理し、受け取ったときは 勘定 (資産) で処理する。

**例題 5**

当 社	(借)	(貸)
-----	-----	-----

千葉商事	(借)	(貸)
------	-----	-----

**【NOTE】**

#### 4 有価証券取引 (p.161)

1 有価証券の評価 (p.161)

- ・時価の変動によって利益を得ることを目的（これを売買目的という）とする有価証券を、発展編では 勘定（資産）で処理する。
- ・売買目的有価証券は、決算日に で評価する。そのさい、評価差額は 勘定（収益および費用）で処理する。

**仕 訳**

- ・売買目的有価証券の評価

【時価>取得原価】

(借)                      ××          (貸)                      ××

【時価＜取得原価】

(借)                      ××        (貸)                      ××

---

### 例題 1

- (1) (借) (貸)

---

(2) (借) (貸)

**【NOTE】**

## 5 有形固定資産取引 (p.162)

1 建設仮勘定 (p.162)

- ・ 完成前に支払った建物などの工事代金は (                      の勘定) で記録  
-----  
し、引渡しを受けたときに、固定資産の勘定に振り替える。

**仕 訳**

- ・固定資産代金の一部（または全部）を完成前に支払った。

(借)                    ××      (貸)    現金など   ××

- ・固定資産（建物）が完成し、引渡しを受けた（残額は現金払い）。

(借)                  ××        (貸)                  ××

現金 ××

---

### 例題 1

5/ 1 (借) (貸)

8/31 (借) (貸)

12/31 (借) (貸)

**【NOTE】**

## 2 投資不動産 (p.163)

- ・貸し出して家賃を受け取るために所有している固定資産を \_\_\_\_\_ と  
\_\_\_\_\_ いい、自ら利用する固定資産と区別して \_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定)  
\_\_\_\_\_ で処理する。  
\_\_\_\_\_

### 例題 1

4/ 1 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

5/ 1 \_\_\_\_\_

31 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

12/31 (借) \_\_\_\_\_ (貸)

## 6 株式会社の資本取引 (p.164)

### 1 株式の発行 (p.164)

- ・株式会社は、会社の設立や事業規模の拡大にあたり、資金を調達するために  
\_\_\_\_\_ を発行する。  
\_\_\_\_\_
- ・株式の発行による払込金額は、全額を \_\_\_\_\_ とするのが原則であるが、払込金  
\_\_\_\_\_ 額の最大 2 分の 1 を資本金にしないことができる。資本金にしない部分は  
\_\_\_\_\_ 勘定 ( \_\_\_\_\_ の勘定) で処理する。  
\_\_\_\_\_

### 仕 訳

- ・株式を発行した。

【原則】 (借) 当座預金など ×× (貸) ××

【例外】 (借) 当座預金など ×× (貸) ××

××



2 創立費、株式交付費、開業費 (p.164)

- ・会社設立までに支払った定款作成費、株式発行費などの諸費用は 勘定  
-----  
(                      の勘定) で処理する。  
-----
- ・会社設立後、開業までに支払った広告宣伝費、通信費などの諸費用は 勘  
-----  
定 (                      の勘定) で処理する。  
-----
- ・会社設立後に追加で株式を発行するとき支払った諸費用は 勘定  
-----  
(                      の勘定) で処理する。

※ 株式の発行費用はいつ発行したかで処理が異なる

設立のとき … 創立費勘定	設立後 … 株式交付費勘定
<p>① 創立費勘定</p> <p>② 創立費勘定</p> <p>③ 創立費勘定</p> <p>④ 創立費勘定</p> <p>⑤ 創立費勘定</p> <p>⑥ 創立費勘定</p> <p>⑦ 創立費勘定</p> <p>⑧ 創立費勘定</p> <p>⑨ 創立費勘定</p> <p>⑩ 創立費勘定</p> <p>⑪ 創立費勘定</p> <p>⑫ 創立費勘定</p> <p>⑬ 創立費勘定</p> <p>⑭ 創立費勘定</p> <p>⑮ 創立費勘定</p> <p>⑯ 創立費勘定</p> <p>⑰ 創立費勘定</p> <p>⑱ 創立費勘定</p> <p>⑲ 創立費勘定</p> <p>⑳ 創立費勘定</p> <p>㉑ 創立費勘定</p> <p>㉒ 創立費勘定</p> <p>㉓ 創立費勘定</p> <p>㉔ 創立費勘定</p> <p>㉕ 創立費勘定</p> <p>㉖ 創立費勘定</p> <p>㉗ 創立費勘定</p> <p>㉘ 創立費勘定</p> <p>㉙ 創立費勘定</p> <p>㉚ 創立費勘定</p> <p>㉛ 創立費勘定</p> <p>㉜ 創立費勘定</p> <p>㉝ 創立費勘定</p> <p>㉞ 創立費勘定</p> <p>㉟ 創立費勘定</p> <p>㊱ 創立費勘定</p> <p>㊲ 創立費勘定</p> <p>㊳ 創立費勘定</p> <p>㊴ 創立費勘定</p> <p>㊵ 創立費勘定</p> <p>㊶ 創立費勘定</p> <p>㊷ 創立費勘定</p> <p>㊸ 創立費勘定</p> <p>㊹ 創立費勘定</p> <p>㊺ 創立費勘定</p> <p>㊻ 創立費勘定</p> <p>㊼ 創立費勘定</p> <p>㊽ 創立費勘定</p> <p>㊾ 創立費勘定</p> <p>㊿ 創立費勘定</p>	<p>① 株式交付費勘定</p> <p>② 株式交付費勘定</p> <p>③ 株式交付費勘定</p> <p>④ 株式交付費勘定</p> <p>⑤ 株式交付費勘定</p> <p>⑥ 株式交付費勘定</p> <p>⑦ 株式交付費勘定</p> <p>⑧ 株式交付費勘定</p> <p>⑨ 株式交付費勘定</p> <p>⑩ 株式交付費勘定</p> <p>⑪ 株式交付費勘定</p> <p>⑫ 株式交付費勘定</p> <p>⑬ 株式交付費勘定</p> <p>⑭ 株式交付費勘定</p> <p>⑮ 株式交付費勘定</p> <p>⑯ 株式交付費勘定</p> <p>⑰ 株式交付費勘定</p> <p>⑱ 株式交付費勘定</p> <p>⑲ 株式交付費勘定</p> <p>⑳ 株式交付費勘定</p> <p>㉑ 株式交付費勘定</p> <p>㉒ 株式交付費勘定</p> <p>㉓ 株式交付費勘定</p> <p>㉔ 株式交付費勘定</p> <p>㉕ 株式交付費勘定</p> <p>㉖ 株式交付費勘定</p> <p>㉗ 株式交付費勘定</p> <p>㉘ 株式交付費勘定</p> <p>㉙ 株式交付費勘定</p> <p>㉚ 株式交付費勘定</p> <p>㉛ 株式交付費勘定</p> <p>㉜ 株式交付費勘定</p> <p>㉝ 株式交付費勘定</p> <p>㉞ 株式交付費勘定</p> <p>㉟ 株式交付費勘定</p> <p>㊱ 株式交付費勘定</p> <p>㊲ 株式交付費勘定</p> <p>㊳ 株式交付費勘定</p> <p>㊴ 株式交付費勘定</p> <p>㊵ 株式交付費勘定</p> <p>㊶ 株式交付費勘定</p> <p>㊷ 株式交付費勘定</p> <p>㊸ 株式交付費勘定</p> <p>㊹ 株式交付費勘定</p> <p>㊺ 株式交付費勘定</p> <p>㊻ 株式交付費勘定</p> <p>㊼ 株式交付費勘定</p> <p>㊽ 株式交付費勘定</p> <p>㊾ 株式交付費勘定</p> <p>㊿ 株式交付費勘定</p>

### 例題 1

- (1) (借) (貸)

- (借)
(貸)

- (2) (借) (貸)

- (3) (借) (貸)

- (借)
(貸)

## 7 決算整理 (p.166)

1 商品の期末評価 (p.166)

- ・ 実際の数量と商品有高帳の数量の差を といひ、 勘定  
 ( ) の勘定) の借方に記入するとともに、 勘定 ( ) の勘定)  
 の貸方に記入する。
- ・ 決算日における期末商品は (正味売却価額) で評価する。
- ・ 時価が原価よりも下落しているときは、下落分を 勘定 ( ) の  
 勘定) の借方に記入するとともに、 勘定 (資産) の貸方に記入する。

### 例題 1

(借)	(貸)
(借)	(貸)
(借)	(貸)
(借)	(貸)

原価 @¥	( )	棚卸減耗費	
正味売却価額 @¥	( )		
	実地棚卸数量 ( 個)	帳簿棚卸数量 ( 個)	

## 2 引当金 (p.167)

- ・引当金には、貸倒引当金以外にも、特別修繕引当金、商品保証引当金などがある。
- ・引当金は、次期以降の支払いの原因があるため、当期に上するという共通の仕組みを持っている。

### (1) 修繕引当金

- ・企業が保有している固定資産に関して、に行われるにともなう支払いの原因が当期にある場合にを計上する。
- ・当期の決算において、次期の修繕費用のうち当期負担額を勘定 ( の勘定) の借方に記入するとともに、勘定 ( の勘定) の貸方に記入する。

**例題 2**

01 年末	(借)	(貸)
-------	-----	-----

02 年中	(借)	(貸)
-------	-----	-----

**(2) 賞与引当金**

- ・従業員の当期の勤務に対して、次期以降に賞与が支払われる場合に

を計上する。

- ・当期の決算において、次期の賞与支払額のうち当期負担額を

勘定 (            の勘定) の借方に記入するとともに、            勘定

(            の勘定) の貸方に記入する。

**例題 3**

01 年末	(借)	(貸)
-------	-----	-----

02 年中	(借)	(貸)
-------	-----	-----

**(3) 商品保証引当金**

- ・将来の一定期間内での故障などに対して、無料修理を保証した商品を販売した場合に

を計上する。

- ・当期の決算において、次期の無料修理のための支払額のうち当期負担額を

勘定 (            の勘定) の借方に記入するとともに、

勘定 (            の勘定) の貸方に記入する。

**例題 4**

01 年末	(借)	(貸)
-------	-----	-----

02 年中	(借)	(貸)
-------	-----	-----

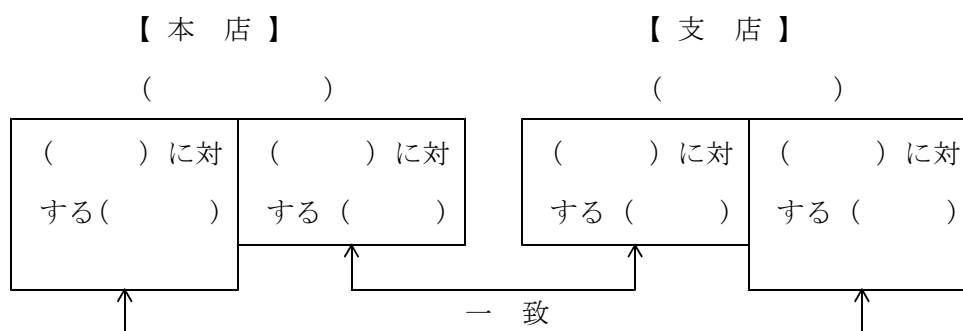
## 8 本支店会計 (p.170)

### 1 本支店会計の意味 (p.170)

- ・ だけの活動状況を知るために、本店と支店を別の組織とみなして、それぞれ別個に会計処理することを という。
- ・ と 間の企業内部の取引を記録する。

### 2 本店勘定と支店勘定 (p.170)

- ・ 本支店会計では、本支店間で生じた取引を記入するため、本店の帳簿に 勘定を設け、支店に対する権利と義務（貸しと借り）を記録する。一方、支店の帳簿には 勘定を設け、本店に対する権利と義務（貸しと借り）を記録する。



### 3 本支店間取引の記録 (p.171)

#### (1) 本店から支店への商品の発送

- ・ 本店は、商品を送付したとき、送付した商品の を 勘定の に記入するとともに、支店に対する を示すために、 勘定の に記入する。
- ・ 支店は、商品を受け取ったとき 勘定の に記入するとともに、本店に対する を示すために、 勘定の に記入する。

#### 例題 1

本店 (借)	(貸)
支店 (借)	(貸)

## （２）本店・支店の債権・債務の立替払い、代理回収

〔例１〕本店は支店の買掛金¥100 を現金で立替払いした。

- ・本店は、現金が¥100 減少するので、現金勘定の貸方に¥100 記入するとともに、  
-----  
支店に対する                      を示すために、                      勘定の                      に¥100 記入する。  
-----
- ・支店は、買掛金が¥100 減少するので、買掛金勘定の借方に¥100 記入するとともに、  
-----  
本店に対する                      を示すために、                      勘定の                      に¥100 記入する。  
-----

### 例題 2

本店	（借）	（貸）
-----		
支店	（借）	（貸）
-----		

## （３）本店・支店の収益・費用の立替払い、代理回収

〔例１〕本店は支店の従業員の旅費¥100 を現金で立替払いした。

- ・本店は、現金が¥100 減少するので、現金勘定の貸方に¥100 記入するとともに、  
-----  
支店に対する                      を示すために、                      勘定の                      に¥100 記入する。  
-----
- ・支店は、旅費が¥100 発生するので、旅費勘定の借方に¥100 記入するとともに、  
-----  
本店に対する                      を示すために、                      勘定の                      に¥100 記入する。  
-----

### 例題 3

本店	（借）	（貸）
-----		
支店	（借）	（貸）
-----		

4 合併財務諸表の作成 (p.173)

- ・ 本支店会計では、本店と支店がそれぞれ個別に決算整理を行い、  
-----  
を  
作成する。その後、本店と支店の資産・負債・純資  
-----  
産・収益・費用を合算し、  
-----  
を作成する。
- ・ 本支店合併の損益計算書を作成するさい表示方法が一部異なる。
- 
- (第1段階) 売上原価を  
-----  
に  
分けて記載し、  
-----  
を算出する。
- 
- (第2段階) 売上総利益からスタートして  
-----  
を加算し、  
-----  
を差し引いて、  
-----  
を計算する。

## 損益計算書

実教商事（株） 01年4月1日から02年3月31日まで （単位：円）

費 用	金 額	収 益	金 額
	250,000	売 上 高	1,900,000
	1,191,000		366,000
	825,000		
	2,266,000		2,266,000
給 料	300,000		825,000
減 価 償 却 費	50,000	受 取 利 息	5,000
貸倒引当金繰入	3,000		
支 払 家 賃	140,000		
雑 費	70,000		
	267,000		
	830,000		830,000